

人吉高等学校五木分校 平成29年度学校評価

1 学校教育目標
<p>ア 本校の綱領「礼節」「勤労」「進取」の精神を念頭に、全職員一体となって愛情と信頼を基調とした教育を実践し、心豊かで調和のとれた、社会に貢献できる人間の育成を図る。</p> <p>イ 豊かな自然環境の中で、豊かな人間性と健康な体を育み、自信と誇りをもった澁刺とした生徒の育成を図る。</p> <p>ウ 小規模校としての特長を最大限に生かし、生徒一人一人の個性を伸ばすとともに、特色ある学校づくりを実践する。</p>

2 本年度の重点目標
<p>教育スローガン「一人一人が輝く分校生！」</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 授業改革に取り組み、基礎学力の充実を図る。 2 生徒指導の徹底を図り、基本的な生活習慣の確立を図る。 3 進路指導の充実を図る。 4 多様な生徒への対応に努める。 5 地域に根ざした特色ある取組を推進する。 6 校務改革に取り組み、生徒と向き合う時間を確保し、職員の多忙化の解消に努める。

3 自己評価総括表						
評価項目		評価の観点	具体的目標	具体的方策	評価	成果と課題
大項目	小項目					
学校経営	信頼される学校づくり	広報活動の充実	分校ニュースを職員が輪番で担当して年11回発行し、学校行事等での生徒の頑張りを情報発信する。	毎月、分校ニュースを保護者、地域機関、出身中及び学校評議員に配付し、ホームページに掲載する。 ホームページを毎月複数回更新し内容を充実させる。	A	毎月作成した分校ニュース（新聞）を管内中学校に教員が持参する事で、熱心さが伝わったようだ。また、ホームページへのアクセス数が急激に伸びた。内容がわかりやすく、暖かみがあり、教育活動の様子が良くわかると多くの方に認めていただいた。昨年、受賞した学校ホームページ部門、NEXT熊本賞の効果も大きいと考えられる。
		ボランティア活動の充実	学期に1回以上、年5回以上、全校生徒・職員で地域貢献のための環境美化活動や交通指導を行う。	定期考査最終日及び夏休みに、五木分校周辺の清掃・美化活動を、月初めの早朝に交通指導を行う。	A	全て計画とおりに取り組む事が出来た。生徒にも積極的な姿勢が見られ、五木村からの信頼を築く事ができた。
		五木秀麗会との連携強化	秀麗会総会・報告会の出席率100%を目指す。保護者との良好な協力関係を構築する。	保護者が参加しやすい日程を考える。担任と保護者間で密な連絡、相談等を行い、良好な協力関係を保つ。	B	保護者全員に秀麗会役員として学校行事へ参加して頂いた。しかし、仕事や時間の都合上、報告会の出席率100%を達成する事はできなかった。
		地域に密着した教育活動の充実	地元保育園・五木小学校・五木中学校との合	第5回保・小・中・高合同大運動会の円滑な運営を行う。本年度は五	地元保育園・小学校・中学校及び各校種PTAと密接な連絡体制と連携を図る。	A

		同事業の充実	木分校が担当校。小・高交流、中・高交流、合同研修会や行事を充実させる。	救急講習、防災教育等の中学校との合同開催を実施する。		防災教育と消防火避難訓練も中学校と協力して実施できた。様々な交流事業をとおして、生徒の責任感と自主性の育成につながった。
		地域中学校との連携強化及び入学生徒数の確保	毎月1回担当職員が中学校を訪問する。平成30年度入学人数を2桁にする。	各中学校を分担して職員が担当し、連絡体制を強化する。学校説明会や体験入学を充実させる。マスコミ媒体を利用して、生徒募集に特化した宣伝を行う。	A	毎月の中学校訪問も定着し、卒業生の状況報告もできた。体験入学には50名を超える過去最高の参加者があり、五木分校への関心の高さがうかがえた。高校説明会では、スライドを利用し、五木分校の生活を具体的に示したことで、中学生、保護者、中学校教職員に、楽しくてわかりやすいと好評であった。
		五木村関係機関との連携や行事等への協力	警察と連携した交通安全指導等への参加。分校でしか体験できない教育活動を展開する。年10週のあいさつ運動を実施する。	五木村で行われる交通安全運動、各種祭、駅伝大会等に生徒会を中心に積極的に参加する。地域との良好な協力関係を構築する。	A	あいさつ運動は、生徒会を中心に主体的な活動ができた。交通安全運動や駅伝大会、祭りなどにも積極的に参加し、五木村活性化に貢献できた。
学力向上	教育課程	教育課程の検討実施	教育課程の編成・実施と管理	将来のビジョンに関する検討と進学指導体制の強化	A	生徒一人一人の進路先を十分に検討し、個に応じた指導体制を確立できた。
	基礎学力の定着	学校設定科目「ステップアップ」の充実	生徒間の競争意識の高揚を図り、全員が6段階以上の昇級を目指す。	全学年を3段階の習熟度別グループに分けTTによるきめの細かい指導を行う。振り返り学修を適宜導入する。	B	習熟度別に学び直しを行い基礎学力の定着に有効であった。しかし、自ら学ぼうとする意欲の低い生徒がおり、目標とした6段階以上の昇級を達成できなかった
	授業の充実	わかる授業の構築 授業時間の確保 研究授業の実施と研究会・研修会への参加	生徒の学力に応じた授業の工夫と個別指導を充実させる。授業の自習をゼロにする。各教科の職員が学期に1回以上研究授業を実施する。	各定期考査前に学習会を実施する。出張時の授業変更を確実に進行。研究授業後の合評会の充実を図る。各種研修会へ積極的に参加する。	B	定期考査前の学習会や個人指導は充実していた。全教職員が研究授業を実施し授業の自習もゼロであった。各教科の担当者は1人であるため、教科指導力向上のためには校外での研修の機会が必要である。

キャリア教育	キャリア教育の充実	キャリアガイダンスの充実 「総合的な学習の時間」における系統的な進路学習と体験学習の充実	外部講師による進路学習を積極的に取り入れる。 自然体験学習を充実させ、社会生活に必要なコミュニケーション能力、思考力、創造力を身につけさせる。	進学、就職への講話や、社会生活に向けた学習を行う。 体験学習では学校全体で取り組み、生徒が主体性を持って取り組むような工夫を行う。	A	外部講師による進路学習や面接の受け方、社会生活に向けての心構え等の講話を予定通りに実施できた。体験学習では生徒一人一人が意欲的に取り組み、コミュニケーション能力を身につける事ができた。
	個に応じた進路指導	各自の進路希望に応じた個別指導の実施	進路希望の100%達成を目指す。	個別面談を適宜実施し、個に応じた課外や面接指導を行う。関係諸機関との連携を図りながら個別指導と対応を充実させる。	B	全職員で協力して個に応じた課外指導や面接指導を行った。順調に進路が決定した生徒もいるが、目標が定まっていない生徒もいる。
生徒指導	基本的な生活習慣の確立と規範意識の高揚	基本的な生活習慣の確立	自らの力で生活態度を向上させる態度を養う。	学習・生活の記録を毎日提出させる。保護者と連絡を密に行う。	C	学習・生活の記録から家庭での様子を知る事ができた。携帯電話やゲームに費やす時間が多く生活習慣の改善が必要である。
		規範意識の高揚	生徒会行事や学級活動等での団体行動や月例会講話を通して、規律ある行動ができるような集団をつくる。問題行動、トラブル等を未然に防止する態度を養う。	交通安全、整容や言葉遣い、マナー等の向上に取り組む。アンケート調査、生徒の日常観察等により全職員で生徒の状況を把握し、トラブル等の未然防止に努める。	B	整容面での軽微な違反や、級友間での些細なトラブルはあったが、個別に指導することで規範意識の喚起はできた。生活指導については外部機関とも連携を取りながら適切、迅速な指導を行なう事ができた。
	生徒の主体的活動の充実	生徒会活動の充実と部活動の活性化	全生徒が生徒会活動に参加する。部活動への加入率を100%とする。	全生徒が、生徒会の係を分担し活動を行う。生徒会による生徒総会、月例会の運営を充実させる。部活動で、各種競技会等への積極的な参加を行う。	B	学校行事等では、責任感を持って企画・運営上の仕事に取り組む姿が増え、高く評価ができる。部活動加入率は100%であったが積極的な活動に結びついていなかった。各種大会や展示活動には最低限参加する事ができた。
	個々の生徒に応じた適切な指導	生徒一人一人の状況把握と柔軟な対応	各学期1回以上、職員研修（生徒理解、特別支援等）を実施する。毎週の運営委員会で生徒の状況報告と実態把握を行う。	外部の専門家との連携を密にし、積極的な活用を図る。生徒理解のための資料を作成し、全職員が生徒個々の特性と現在の状況を理解して指導に当たる。	A	外部専門家との連携が良く取れた。毎学期、支援会議を開催し、生徒の就職支援に繋げる事ができた。定期的にスクールカウンセラーによる職員研修を実施し、特性を持つ生徒への具体的支援や理解を深める事ができた。

人権教育の推進		生徒と教職員、生徒同士の望ましい人間関係の構築	3年間を見通した人権教育LHRを計画的に実施する。各行事を通して、自尊感情の定着とともにお互いを認め合うことができる生徒を育成する。	学年毎にテーマを設定してわかりやすい授業を行う。学校行事では、生徒全員がお互いに協力して作りあげる取組を重視して計画させる。職員も参加して支援する。	A	中学生との交流やボランティア活動とおし、責任感とリーダーシップを養う事ができた。校内外で互いを思いやり協調して活動する姿がみられた。
	「命を大切にすることを育む指導」	取り組みをおとした生命の尊厳並びに他者の価値観を尊重する自尊感情の育成	指導プログラムを作成し、各学期「命を大切にすることを育む授業」やLHRを実施する。月例集会講話等で思いやる心や強い心を醸成する。	各教科科目の授業で「命を大切にすることを育む」についての授業を行い、職員も参観する。LHR、総合的な学習の時間や月例集会等を活用し、日頃から、「思いやる心」について触れた話等を行う。ボランティア活動の深化。	B	各教科において「命を大切にすることを育む」という観点で授業を実施したが、全職員が参観できるまでには至らなかった。総合的な学習の時間や月例集会において、他人を思いやる心や生きる力など、職員からの講話を毎回実施し、「命を大切にすることを育む」事ができた。
いじめの防止等	いじめ防止基本方針の着実な推進	いじめを許さない心を育む指導の充実	いじめ発生「0」を目指す。いじめにつながる学校全体の雰囲気を作る。毎日必ず生徒と会話をする。	全体指導と個別面談等を行い、いじめの未然防止に努める。月例集会で生活態度等について注意を喚起する。生徒の小さな変化を見逃さず迅速な対応を心がける	A	生徒は互いを尊重し良好な友人関係を築いている。生徒が教員に相談しやすい雰囲気作りを努めた事で悩みや困り感に対し迅速に対応し、解消する事ができた。アンケート回答で、いじめ件数は「0」であった。
		生徒の状況把握と迅速な指導体制の構築	相談窓口の周知を行う。日頃の生徒間の行動観察と情報共有を図る。年3回の心のアンケートを実施する。外部の専門家を活用したいじめ問題対策委員会を毎学期、年3回実施する。いじめ防止基本方針を職員に周知する。	相談窓口を合格者説明会・入学式・1学期始業式・五木秀麗会総会で生徒保護者に周知する。生徒相談係、担任の日常観察及び運営委員会報告等により、全職員が生徒の変化を掌握した上で適宜対応する。いじめ防止に関する職員研修を行う。	A	心のアンケートをはじめ、普段の面談や悩み相談から知り得た情報を全職員で共有し、個々の事例に迅速かつ丁寧に対応する事ができた。健康観察やいきいき相談等を通じて、生徒の変化の早期発見に努め全職員で個々の事例に対応できた。外部の専門家を交えたいじめ問題対策委員会を実施し、職員の意識向上に努めた。スクールカウンセラーによるソーシャルスキル・トレーニングを全生徒が実施し自己理解を深めた。

地域連携 (コミュニティ・スクールなど)	防災型コミュニティ・スクールをベースにした、防災意識の高揚と、地域と一体となった連携体制の構築	防災教育の充実	学校防災年間計画を作成し、防災教育の充実を図る。	生徒の防災意識を高める取組を計画し、生徒の地域との連携の重要性を認識させる。	A	地域の関係機関と連携し、学校防災年間計画を作成した。防災講話や消防火避難訓練を実施し、生徒の意識を高める事ができた。
		地域や関連機関との連携の確立	五木村教育委員会・消防署・派出所と連携し、計画的に協議会を開催する。	五木村教育委員会・消防署・派出所と連携を取り合い、防災拠点としていつでも活用できるよう準備する。	A	防災に関する地域の連絡協議会に参加し、連携を取る事ができた。特に警察署と消防署とは十分な協議を重ねた。
職員研修	職員の資質の向上	職場での不祥事の根絶と職員の意識の高揚	分校職員の不祥事「0」を目指し、毎学期、不祥事根絶のための校内研修を実施する。 職員朝会で適宜職員としての規範意識の高揚を図る。 互いの言動に目を光らせ、教育目標達成に向け一丸となる。	毎日の職員朝会要項に本校教育目標を掲げるとともに、不祥事0の継続日数を表示する。 職員朝会で適宜不祥事の事例を紹介し、注意を喚起する。 積極的にコミュニケーションを取り合うことで情報や悩みを共有する。	A	毎学期「不祥事防止研修」を行った。朝会等で定期的の不祥事の注意喚起を行うことで、意識の高い集団になっている。また、同僚感が強い集団であり、教育に対する喜びや悩みを共有できている。職務上のストレスを抱えている教職員はいなかった。

4 学校関係者評価

1 学校評価表（自己評価）の内容や評価について

(1) 学校教育目標について

- ・内容、評価とも適切であると思います。
- ・五木分校、本校全日制、定時制共に統一され整合性が保たれており、さらに五木分校特有の内容が付加され格調高く分校の校風にふさわしい内容となっています。今後もこのスタイルを継続してほしいです。
- ・「一人一人が輝く分校生」何度聞いてもいいスローガンです。また、その目標に向かって頑張っておられることをはっきりと実感しています。
- ・小規模校であることで、生徒一人一人の個性を伸ばすことができしており、素晴らしい。
- ・学校教育目標の具現化のため、小規模校の特徴を活かした5項目の重点目標が設定されており、目標が達成できている。
- ・本校の綱領「勤労」「礼節」「進取」の精神で豊かな自然環境の中生徒一人一人の個性を伸ばし、特色ある学校作りを実践するという教育目標は大変素晴らしい。
- ・理想的で良い目標である。
- ・生徒への思いやり、取組み等適切である。分校でないとできない教育目標です。

(2) 学校評価の内容や方法について

- ・内容や方法は適切であると思います。比較表も色分けされるなど工夫されています。職員の評価項目の数も整理統合されています。
- ・適切である。現行通りでよい。
- ・具体的目標に対し、より具体的な方策がとられそれに対する成果が細かく記載され大変わかりやすかった。
- ・アンケートの各項目が細かく正確に分析してありとても良かった。
- ・分校の情報や特徴を取り入れとても具体的な評価内容だと思う。アンケート項目も見やすく評価参考としやすい。
- ・それぞれの部署でとても頑張っておられると感じた。

(3) 学校評価の結果について

- ・丁寧な考慮されていると思います。
- ・成果と課題が良く表れています。少人数であるので、その事を踏まえて全体を見る必要があるでしょう。
- ・ホームページや五木分校新聞（分校ニュース）がわかりやすくとても良い。
- ・いい評価だと思います。
- ・自らの対策に対して成果もしっかり上がっていると思います。また、それ以上にやるべき課題にも着目され今後それをどう改善されていかれるか期待します。
- ・内容、評価ともに適切であり、評価結果も良好であると思います。地域に密着した教育活動は五木分校の魅力、特徴でありそれが充実していることは大変素晴らしいと思いました。
- ・小規模校としての特徴を最大限に生かし、地域に根ざした取組みがなされていると思う。今後とも継続的な取組みが大切ではないでしょうか。
- ・先生と保護者の信頼関係があり、生徒にも良い影響があると思います。
- ・全職員で生徒の為に様々な取組みを行われていることがよくわかる。今後きめ細やかな取組みを期待する。

2 教育活動その他の学校改善に向けた取組みについて

(1) 学校経営について

- ・広報活動の充実で毎月の新聞作成、ホームページの更新・内容の充実と対外への紹介活動が大変素晴らしいと思います。中学生に良い宣伝ができています。地域に根ざした秀麗会の活動も素晴らしい。
- ・地域との連携生等、五木分校の特色がよく生かされていると思います。
- ・まず、入学者をいかにして増やすかが課題でしょう。分校ニュース、ホームページの活用、地域社会との連携、特に「NEXT熊本賞」の効果は大きいでしょう。このような特徴ある広報活動は今後も続けてほしいと思います。
- ・昨年度受賞の「NEXT熊本賞」の影響が大きいと思います。
- ・取組みについては適切であると思います。「地域に密着した教育活動の充実」については今後も更に進展していくことを期待しています。
- ・分校の情報発信内容が充実しわかりやすい。保護者や地域との連携が保たれている。今後とも地域密着型の信頼される学校情報を発信し続けてください。
- ・ICTの活用等取組みが適切であると思います。

(2) 学力向上について

- ・学力向上のための基礎学力の定着に向け、個々に応じた指導体制の確立は素晴らしいことだと思います。
- ・生徒一人一人に細やかに対応していただいていることに感謝しております。
- ・担当者の指導力向上に向けた本校との連携を考えられたらいかがでしょうか。
- ・個に応じた指導体制、基礎学力の向上、個人指導の充実等に取り組まれその成果は出ています。そんな中で、欠点者がやむをえず出たことは残念ですが取組みは適切と思われるので今後期待します。
- ・来年も高い目標に向かって努力してください。
- ・概ね適切であると思います。次年度へ向けて課題が解決されることを望みます。
- ・家庭学習の取組みが改善されるといいですね。
- ・小規模校のメリットで、教科担当の先生の細かい指導が行き届いていると思います。
- ・個人差がある学習意欲の向上は大変だと思う。ステップアップ授業の中で基礎学力の向上を期待します。
- ・基礎学力定着の「ステップアップ」は大変有効である。家庭学習の定着が課題でしょう。

(3) キャリア教育について

- ・適切である。
- ・キャリア教育が充実し、コミュニケーション能力が身についたという成果も上がり、素晴らしい。しかし、いまだ目標が定まらない生徒がいるという課題も解決してほしい。
- ・個に応じた進路目標がよくなされていると思います。なかなか目標が定まらない生徒に対しても丁寧な対応をお願いします。
- ・取組みは適切であると思います。

- ・キャリアガイダンスの充実とともに個に応じた進路指導がしっかりと行われ早期に進路決定ができて良いと思います。
- ・生徒に対して一生懸命進路指導を実施されているのがわかる。小規模校の一番秀れている点であり、今後も引き続き熱心なご指導をお願いします
- ・一人一人に対応した指導は、素晴らしい。・特に外部講師を招聘しての講話や体験学習は有効であったと思います。100パーセントの達成はかなわなかったようですが取組みは適切であると思われま。

(4) 生徒指導について

- ・学習、生活の記録をするという行為そのものが自己検証となり大きな意義を持つと思います。その記録によって家庭での様子もわかり連携が取れるでしょう。生徒会の自主的運営と部活動の活性化に更にご指導をお願いします。
- ・マナーは学校だけで教えられるものではありませんが、マナーの良さは実業界では大変高い評価を受けるのも事実です。周りの人間から好感度をもらうことがどれだけその人に人生に影響を及ぼすか、今の先生達を見ていて、五木分校ではその指導が出来ていると感じています。
- ・具体的の方策により、具体的な課題がはっきりと示されたことは良いことだと思います。今後、その課題にしっかりと取り組んでほしいです。
- ・携帯電話やゲームについては保護者啓発も含めてよろしくをお願いします。中学校でもしっかりと取り組んでいきます。
- ・取組みは適切であると思います。基本的な生活習慣の確立だけではなく生徒の主体的活動が充実していることは素晴らしいことと思います。
- ・家庭でも生活習慣の確立等に努めていきたいと思っています。学校行事への積極的参加により学校が活性化されました。
- ・基本的な生活習慣の確立は家庭の課題でもある。学校と協力しやっていきたい。

(5) 人権教育の推進について

- ・個々に応じた指導と命を大切にすることを育む指導を中心に据えておられ、外部専門家との連携を組むなどしてその成果はあったようです。いじめ防止にも有効だと思います。
- ・適切です
- ・より具体的な目標と方策が立てられており、確かな成果が上がっていると思います。
- ・丁寧に日頃から一人一人に対して取組まれていると思います。
- ・職員研修もしっかりとやっておられて、そのほか支援会議、合同運動会、月例集会、講話の実施等をとおして人間形成が図られていると感じます。
- ・小規模校の特色を生かし一人ひとりに向き合った適切な指導がなされており、外部機関とも連携しながら、生徒の人権に配慮した指導・支援が行われている。
- ・スクールカウンセラーや小学校、中学校との連携も取れており、一人一人を大切にされた指導・支援が行われていると思います。
- ・生徒一人ひとりの状況把握に努められ、地域のボランティアにも積極的に参加されるなど良い経験になっている。

(6) いじめの防止等について

- ・アンケート調査やスクールカウンセラー等も実施され、問題があればその都度対応、解決されており、ほとんど表面には出てきてないようです。しかし、生徒の評価が少し低いのが気になります。常にアンテナを張って注意していかれる必要性を感じます。
- ・適切である。
- ・具体的目標、方策、その成果で先生方と生徒との間にしっかりとした信頼関係を感じます。素晴らしいです。
- ・生徒一年生と三年生、保護者三年生に「2」の評価があります。丁寧な対応を期待します。
- ・「心のアンケート」をはじめ健康相談やいきいき相談等で生徒の変化の早期発見に努め相談しやすい雰囲気作りが素晴らしいと思います。
- ・生徒一人一人の状況把握に努められ、今年もいじめ案件が0は素晴らしい。これからも継続してほしい。
- ・アンケート結果を全職員が周知し、健康観察やいきいき相談等を通じて、生徒の変化の早期発見に努め、全職員で個々の事例に対応できる。いじめ防止活動が適切に実行されている。

(7) 地域連携（コミュニティースクールなど）について

- ・分校の地域性から歴史的な諸事において地域との連携がなされています。特に昨今は大きな災害があちこちで起きていますので防災についての連携はますます重要になってくるでしょう。
- ・地域と一体となった連携体制がしっかりと確立されているように感じます。これからも一層充実させてください。
- ・見事なくらいに五木村と連携している。
- ・地元との連携が入学者の増加につながっている。
- ・コミュニティ・スクールの取り組みをとおして充実してきていると思います。

(8) 職員研修について

- ・一般社会においても社員研修は必修になっており、かなりの時間を割いています。引き続き研修に努められ、資質の向上に努めてほしいです。幸い、不祥事もなく成果が見られます。
- ・積極的にコミュニケーションを取り合うことの出来る職場はとても素晴らしいです。生徒のためにお互い、切磋琢磨してください。
- ・よく取組まれていると思います。
- ・全員で不祥事防止に取り組んでおられて、安心しております。職員集団が良い雰囲気であることがうかがえます。大変良いことだと思います。
- ・職員間の団結の強さを感じます。子供の学力アップにつなげていただければと思います。
- ・多くの校内研修をとおして取組の成果が十分出ていると思います。

3 その他

- ・ホームページの更新を毎日楽しみにしています。とても見やすくわかりやすいのでありがたいです。生徒の生活の様子が良くわかります。
- ・分校新聞もよく発行され頑張っておられました。嬉しいくらいに読む方も大変ですが、一年間の歩みが良くわかりました。
- ・今の時代に必要とされる学校だと感じています。今後も暖かみのある学校生活を生徒達が送れることを望みます。
- ・子どもの数が減少し学校の経営が厳しさを増していく現実がありますが、分校に救いを求めて入学してくる生徒もいることでしょう。そういう生徒達を受け入れ、育む、豊かで叙情的な雰囲気があるように感じます。先生方の懸命な取組みに敬意を払います。
- ・小規模校の特性を十分に生かした教育が出来ていると感じました。一人一人の成長の場としては素晴らしい環境にあると思います。
- ・地域に密着した教育、小規模校の強みを生かした教育が充実していることがよくわかりました。
- ・生徒一人一人の個性が尊重され、伸び伸びと成長している様子がうかがえます。これからも分校教育の素晴らしさを継続してください。
- ・日頃からホームページを見て、生徒の生き生きとした様子が伝わり、とても家庭的な雰囲気を感じます。これからも小規模校のよさを発信してください。

5 総合評価

1 本年度の学校教育目標

アの目標は、本校綱領「礼節」「勤労」「進取」を基盤とした人吉高校としての目標（本校全日制・定時制・分校共通）であり、適切であった。

イ及びウの目標は、五木分校の特性に応じた目標であり、分校全職員が共通認識を持って取り組むことで、小規模校ならではの生徒一人一人に応じた教育の実践を図ることができた。また、地域と密に連携を取り合うことで、地域に根ざすことができた。

2 本年度重点目標

教育スローガン「一人一人が輝く分校生！」を掲げ、生徒一人一人に応じた適切な指導を行い、生徒を認め・ほめ・励ましながら一緒に取り組むことで、生徒が日々の教育活動で活躍する場面を作りだし、自己肯定感や自信に繋がる教育を実践することができた。

1「基礎学力の充実」では、基礎学力向上のための学校設定科目「ステップアップ」を充実させ、課題等の工夫改善と生徒の家庭学習の習慣化を図った。しかしながら十分に目標を達成できたとは言えずさらなる工夫が必要である。ICT活用や発見学習、グループ活動授業をはじめとした生徒の主体的学びを目標に授業の構築に努めた。定期考査前学習会の実施や個別指導の充実で、生徒一人一人への丁寧な学習指導を充実させることができた。

2「生徒指導の充実」では、保護者や地域との協力のもと、生徒の基本的な生活習慣の確立を図った。携帯電話やゲームに費やす時間が多く、粘り強い指導が必要である。毎月の月例集会講

話や外部専門家の講話等を通して、規範意識の向上と他を思いやる態度を育むことができた。

3 「進路指導の充実」では、キャリア教育の一環として、ジョブカフェやハローワーク等から外部講師を招聘し、進路実現に繋げた。また、キャリアカウンセラーと全職員による面接練習を導入し、生徒のコミュニケーション能力の向上を図ることができた。さらに、「体験学習」を充実させることにより、達成感や自己成就感を味わわせ、生きる力を育み、自己肯定感に繋げることができた。

4 「多様な生徒への対応」では、毎朝の健康観察で生徒の心身の状態を把握すると共に、今年度も「いきいき相談（生徒と特別支援コーディネーターとの面談）」を実施し、生徒一人一人の悩み感を迅速に解消することができた。また、スクールカウンセラーや特別支援コーディネーターの協力を得て、生徒理解研修や支援会議を毎学期開催することで、全職員が共通理解を図り指導に役立てることができた。

5 「地域に根ざした特色ある取組の推進」では、保育園、小学校、中学校との連携、地域との協力体制強化を図ることで、異年齢交流や大人数での集団活動を体験させることができた。特に、五木村保・小・中・高合同大運動会では、3年に一度の当番校としての役割を果たし、生徒は自覚、責任感、リーダーシップに繋がる主体的な活動を行うことができた。また、五木村駅伝大会や各種祭等の行事への参加、地域ボランティア活動、あいさつ運動等では、生徒会が中心となって、五木村に関わり、地域に貢献できる行事を推進することができた。また、生徒募集の一環として毎月担当職員が管内中学校への訪問を行い、五木分校の教育活動を知らせると共に、相互理解と良好な協力関係を保つことができた。

3 自己評価総括

掲げた目標は概ね達成することができた。特に地域との連携では大きな成果を上げることが出来た。積極的に交流を図ったことで五木村における分校の存在意義を理解していただいた。ホームページや学校新聞による管内中学校への広報活動でも大きな成果を得られ、入学希望者の増加につながっている。また、ボランティア活動や人権教育をとおして「生きる力」「リーダーシップ」「自ら主体的に動く」「他人を思いやる心」などの育成につながった。他にも、数値目標として実施回数を掲げた項目は概ね実施できた。

これは学校教育目標達成に向けて全職員が一丸となり取り組んだ結果である。次年度以降も生徒の成長を第一に考え、分校の特色を生かし、地域と連携しながら学校の活性化に努力していきたい。

6 次年度への課題・改善方策

(1) 「入学生徒数の増加」

<改善方策>

- ・五木村とのさらなる連携による魅力ある五木村作りへの貢献
- ・管内中学校との協力関係の強化（中学校訪問による情報交換）
- ・五木村内の保育所、小学校、中学校との連携及び合同行事の充実
- ・広報活動（ホームページ、分校ニュース等）の工夫と強化
- ・学習指導の充実と細やかな進路指導の徹底
- ・体験入学、学校説明会の工夫

(2) 「基礎学力の充実」

<改善方策>

- ・授業の充実（個に応じた指導の徹底、興味・関心、意欲を引き出す授業の実践）
- ・学校設定科目「ステップアップ」の充実（上位の段の設定、個別指導の徹底）
- ・家庭学習の習慣化（家庭との連携）
- ・学習課題の工夫と改善（個の進路希望に応じた学習指導）

(3) 「キャリア教育の充実」

<改善方策>

- ・各学年に応じたキャリア教育の強化（ライフプランニング授業・インターンシップ等の充実）
- ・「体験学習」の充実（主体性、達成感・自己成就感、自己肯定感の醸成）
- ・個に応じた進路指導の充実（個別面談・個別指導の充実、自己表現力の育成、外部講師招聘）